

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都市長	平成24年7月10日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市南区吉祥院石原上川原町1-2	報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 京都生活協同組合 理事長 二場 邦彦

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	左京支部 他11支部 コープ下鴨 他20店舗 本部事務所
導入年月日	2002年 3月 22日
認証番号	JQA-EM2281
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境に配慮した商品の取り扱いと普及をすすめます。 2. 地球温暖化防止対策として、CO2排出削減のためにエネルギー使用量削減と再生可能エネルギーの活用に取り組みます。 3. 廃棄物の発生抑制、再資源化をすすめます。 4. 資源や資材の有効活用をすすめるとともにグリーン購入に取り組みます。 5. 環境関連の法規、その他受け入れを決めた要求事項を順守します。 6. 組合員による環境保全活動に積極的に取り組むとともに、地域の環境保全を諸団体と協同してすすめます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>環境配慮商品の対象整理と、普及方法の見直しを行う。</p> <p>環境保全型農産物の供給計画を策定する。</p> <p>CO2排出量を総量で05年(日本生協連基準年)比、1%削減します。</p> <p>店舗での商品廃棄率を09年度対比0.01%改善。</p> <p>食品リサイクル率を48%に向上させる。</p> <p>領票・文書電子化の推進計画の検討。</p> <p>家庭の省エネ活動を推進する。</p> <p>モデルフォレスト森林づくり運動の本格展開。</p>
目標を達成するための取組の内容	<p>省エネルギー (CO2)</p> <p>デマンドコントロール設置や照明の置換え、空調機、冷蔵冷蔵設備の更新等</p> <p>BDFは利用台数を維持。</p> <p>エネルギー設備の効率的な運用を行なう「運用改善」で電気使用量の1%。</p> <p>廃棄物排出量の削減</p> <p>コープ桃山で食品廃棄物をバイオガス化処理委託</p>
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>省エネルギー (CO2)</p> <p>10年度本部事務所棟へのデマンドコントロール設置、洛東支部、コープ二条駅での照明LED化</p> <p>BDFは利用台数を維持。</p> <p>廃棄物排出量の削減</p> <p>コープ桃山で食品廃棄物をバイオガス化処理委託開始</p>
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>省エネルギー (CO2)</p> <p>CO2排出量は、09年比104.5%と大きく増加。一昨年に年度途中で閉店した店舗による増加影響はあるが、猛暑のなか十分なマネジメントを行なえなかったことが大きい。</p> <p>廃棄物排出量の削減</p> <p>この間閉店して店舗でのオペレーションが安定せず、とりくみは行なっているが、削減できていない状況。</p>
事業活動に係る法令の遵守の状況	<p>関連法規の遵守状況について、上部団体（日本生協連）からの情報をもとに確認を行なっている。各事業所での順守状況については、年1回確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった</p>
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>ISO9001に準拠した業務マネジメントシステムの稼働に伴い、10年度より業務マネジメントシステムへ文書類の統合を行った。文書類については年1回見直しを行うこととしている。</p>

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。